

# 今日も「丁あがり♪

第40話  
「やつちまつた!!」という時に  
現場の力になれるように！の巻

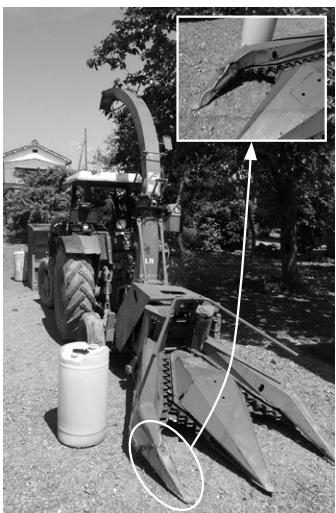


写真1：フェラボリのコーンハーベスターのデバイダーフロントカバー（右側）がひん曲がってしまった



写真2：反対側のカバーから寸法を拾って修復完了！ 形状が複雑だったので、結構難しかった（苦笑）



写真3：折れてしまったサイドミラーのフレームは、回転可能なブラケットにしてシンプルに製作！



写真4：トラクターのPTOシャフトは朝飯前！ 破損したシャフト（上）と、ほぼ同じ品質で修復したシャフト（下）

皆さん、こんにちは！ 新型コロナウイルス対策で散髪中もマスクをしていたら美容院で完全に浮いてしまったロブストス高垣でございます。零細企業の経営者は絶対に感染するわけにいかないんです！！ 皆さんも本当に気を付けてください。

さて、大変情けないことに、エンジンをかけた状態で、無理な姿勢のままトラクターのキャビン内で作業していたら、体のどこかがレバーに引っかかり……。後進してしまったトラクターが農家さんの倉庫の電動シャッターを破壊し、僕が借りていたレンタカーに突っ込みました。

農家さんとフロントガラス越しに目が合った瞬間が忘れられません。全く笑えない事故です。しかも翌日は大雪予報で焦りましたが、シャッター屋さんが土曜日にもかかわらず30分後には修理に駆け付けてくれました。高額な修理費をサポートしようと発注元のメーカーも迅速に動いてくれました。迷惑をかけてしまった農家さんは僕に怪我がなかったことを気遣ってくれた上に元気づけようと夕飯に誘ってくれました。僕を責めることなく対応に奔走してくださった皆さんに感謝

## 今日の失敗を明日の糧に

まず、フェラボリのコーンハーベスターPM29300のデバイダーのフロントカバーがひん曲がってしまったという相談です。畦畔にでも

しぬがら、謝り続けた出来事でした。今回の事故で感じたのは、「壊したくて壊す人はいない」ということ。ロブストスは破損部品の修復を請け負っていますが、マジで困って泣きそうになつてている人からの依頼なんだと、想いが一層リアルになりました。ということで反省を込めて、やつちまつた案件を見ていいましよう！！

高垣達郎（たかがき・たつろう）  
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株ロブストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。（株）ロブストス・代表取締役社長。



突っ込んでしまったのでしょうか。逆サイドの形状を参考に修復して、一丁あがり♪  
続いて、ヰセキのトラクターTR63のサイドミラーのフレームが折れてしまつたとのこと。どこかの壁にでも引っ掛けてしまつたのでしょうか。丸パイプを曲げてシンプルに仕上げて、一丁あがり♪  
最後は、ヰセキのトラクターTR825のPTOシャフトをぶつ壊してしまつたと。デカい石でも引っ搔いてしまつたのでしょうか。バツチリ複製して、一丁あがり♪  
今月の原稿を書いていたら、4年前までアルバイトしていた工場が20年振りにシャッターを新調した翌日に、僕がフォーカリフトで突っ込んでしまつたという忘れていた記憶が蘇つてきました（汗）。皆さんの大さに感謝して、明日も腕を磨いてまいります。ということで！